

## 四柱推命 格局用神法

喜ぶ神・忌む神の求め方

- 命式の良し悪し
- 大運の良し悪し
- 年運の良し悪し

1

## 命式審査の順番

1. 五行の強弱を出す
2. 格局(内格・外格)を決める
3. 喜ぶ神・忌む神を決める
4. 年・月・時柱の喜ぶ神と忌む神を診断  
(天と地は、成敗面と幸禍面として判断)
5. 大運・年運の喜ぶ神と忌む神を診断  
(大運は、実力以上か以下かを判断)

2

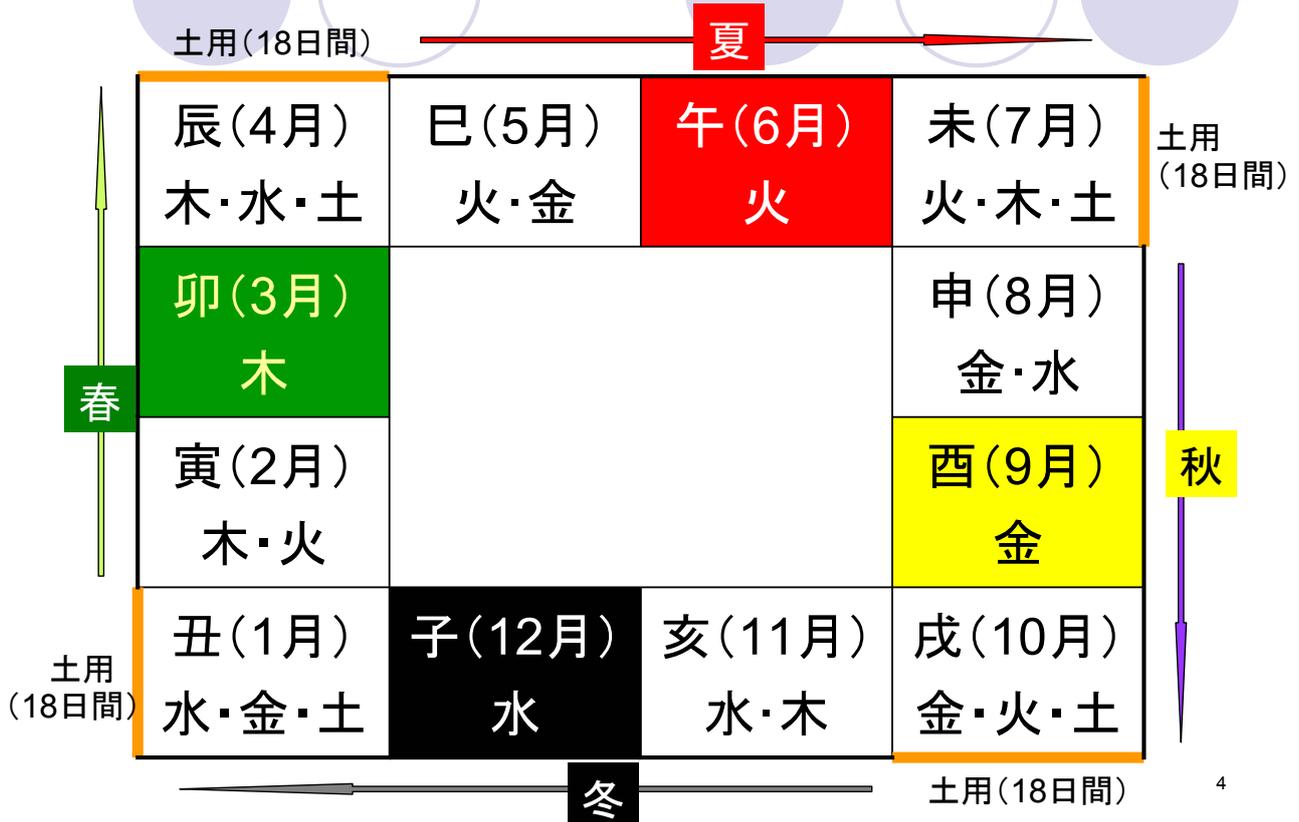
# 五行の強弱の思想

時干	日干	月干	年干	天干
時支	日支	月支	年支	

- ・天干にある五行が、五行と判断します。
- ・地支の五行は、天干を補佐し、サポートする。
- ・つまり、天干にない五行は、地支にあったとしても、五行的には強さゼロとなります。
- ・四柱推命は、天干 つまり、心の作用を重視する思想があるのです。

3

# 十二支と五行



4

## 五行の性情

木	木気を多く受けて生まれた人は、率直にして仁の心があります。性質は従順で平和を好みます。
火	火気を多く受けて生まれてきた人は激しい性格です。しかし礼節を尊び心に害を有しません。
土	土気を多く受けて生まれてきた人は、度量が大きく和を尊び信用を重んじます。
金	金気を多くして生まれてきた人は、性質が剛断で義を重んじます。
水	水気を多くして生まれてきた人は、沈着冷静で知恵があります。

5

## 日主が月令を得る、の意味

■日主が季節の恵みを受けているか、いないかをいう

寅卯	春生まれ	日主が <b>木</b> のとき、月令を得る
巳午	夏生まれ	日主が <b>火</b> のとき、月令を得る
申酉	秋生まれ	日主が <b>金</b> のとき、月令を得る
亥子	冬生まれ	日主が <b>水</b> のとき、月令を得る
丑辰 未戌	土用生まれ	日主が <b>土</b> のとき、月令を得る

6

# 五行の強弱計算法

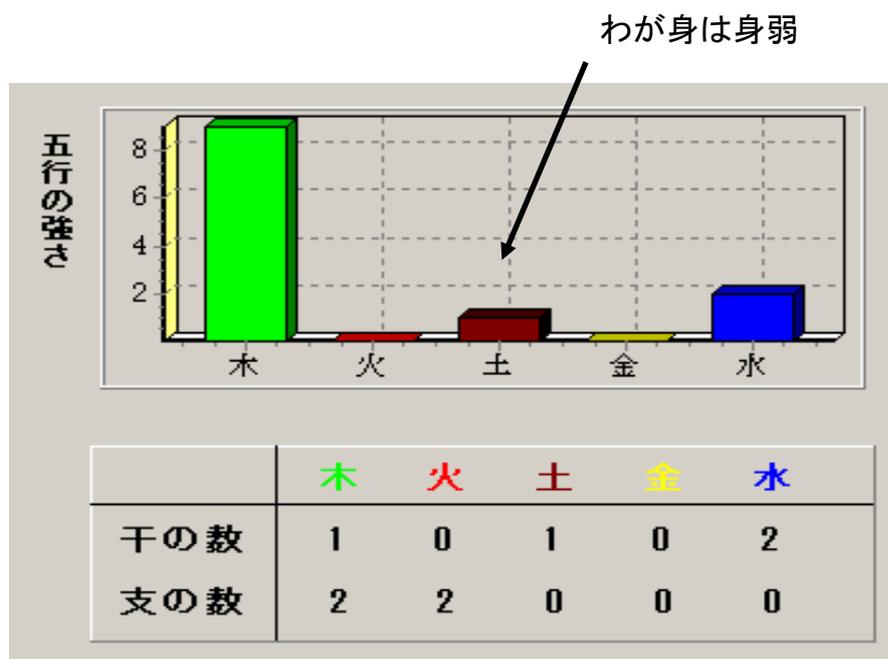
# ある女性の例

天	乙	戊	壬	壬
地	卯	戌	寅	寅
五行	木	金 火 土	木 火	木 火

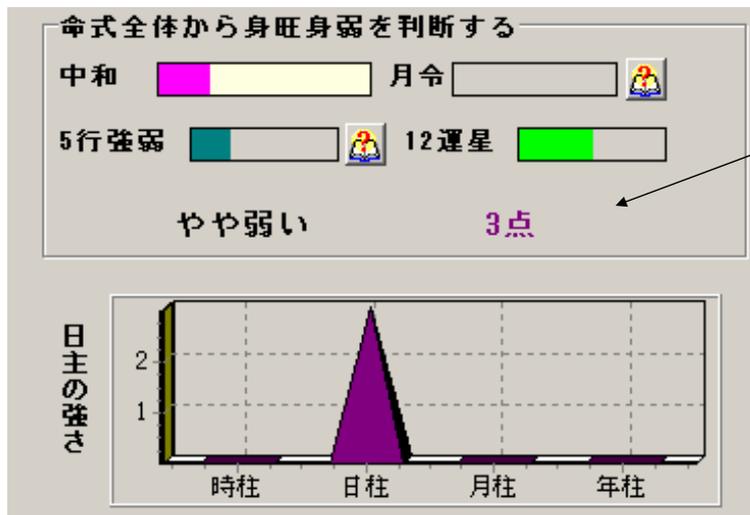
- 月令を得ていればx3
- 支があればx2
- 0支の場合は1とする
- 天に無ければx0

五行	天干	地支	計算	点数
木	1	3→2になる	$1 \times (3 \times 3 \times 3) = 27$ 卯と戌が合しているので無となる。その結果 $1 \times (3 \times 3) = 9$	9点
火	0	2	$0 \times (2 \times 2) = 0$	0点
土	1	1→0になる	$1 \times 2 = 2 \rightarrow 1$ になる	1点
金	0	1	$0 \times 2 = 0$	0点
水	2	0	$2 \times 1 = 2$	2点

この計算結果は、新四柱推命プロ版の画面では下のように表示されます



## もし、他人との比較で身旺身弱をいうなら



この点数は、他人と比較するための点数です。計算方法は、五行の行弱とは異なる方法を採用しています。

9

## 計算式の注意点 1

- 十二支が、隣同士で子と午などで沖してる場合は、天干の根になることができません。もともと、存在しないものとして計算します。
- 十二支が、隣同士で子と丑で合している場合は、天干の根になることができません。もともと、存在しないものとして計算します。
- 合と沖が並ぶ場合はとけます。たとえば 丑子午 とならんだ場合は、合して沖するので、結果として、合も沖もとけるとみます。

10

## 計算式の注意点 2

- 天干が甲己などで合する場合は、合してなくなります。
- ただし、甲己は土行に変化する干合なので、もし、月令が土行なら、土行に変化します。すなわち、甲が戊に変化します。
- 計算式では、このように複雑になってしまいますが、当社の製品を使えば、結果がグラフ表示されていますので、計算する必要はありません。
- ただし、支沖・支合・干合が複雑にある場合は、実際の鑑定では、柱がゆさぶりを受けているという程度にとどめて、鑑定をすすめたほうが良い場合が多いようです。

11

## 内格・外格の手法

例題 →	木 9点	火 0点	土 2点	金 0点	水 2点
---------	---------	---------	---------	---------	---------

内格		外格	
五行のバランスがいいのでさらに良くしていこうとする手法		五行のバランスが片寄っているので、片寄りの特徴として生かしていく手法	
強い木を剋して弱める		強い木を更に強める	
喜神	金・土	喜神	木・水
忌神	木・火・水	忌神	火・土・金

12

## 年・月・時・柱の喜ぶ神と忌む神

内格 吉(金土) 凶(木火水)				外格 吉(木水) 凶(火土金)			
×		×	×	○		○	○
乙	戊	壬	壬	乙	戊	壬	壬
卯	戌	寅	寅	卯	戌	寅	寅
木	金・火・土	木・火	木・火	木	金・火・土	木・火	木・火
×	○	×	×	○	×	○	○
強い五行「木」を弱める。 天干の「木」と「水」の五行はすべて「 <b>凶</b> 」になってしまう。				強い五行「木」を生かす。 天干の「木」と「水」の五行はすべて「 <b>吉</b> 」となる。			
<p>天と地で○×の解釈が異なる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●天は「成敗面」をみます 仕事で成功したか、失敗したか？</li> <li>●地は「幸禍面」をみます その成功が幸せをもたらしたか？</li> </ul>							

13

新四柱推命プロ版で診断すると、下図のように、従殺格の外格と表示されます。

時柱 × 日柱 ○ 月柱 ○ 年柱

乙:正官 戌 壬:偏財 壬:偏財 天干

卯 戌 寅 寅 地支

甲 乙 辛 丁 戊 戌 丙 甲 戌 丙 甲 蔵干

偏官 正官 傷官 印綬 比肩 比肩 偏印 偏官 比肩 偏印 偏官 十二運

沐浴 墓 長生 長生

格局 従殺格 喜ぶ五行 木水 忌む五行 火土金 用神 乙 命宮:子

目上・職場運・社会運・目下運すべてが成敗的に吉であり、幸禍面でも、幸福をもたらすという結果になります。

14

内格に変更した場合、偏官格となり、新四柱推命プロ版では下図のように表示されます

× 時柱 ○ 日柱 × 月柱 × 年柱

天千  
地支  
蔵干  
十二運

格局 偏官格  
用神 乙  
喜ぶ五行 土金  
忌む五行 木火水  
命宮: 子

目上・職場運・社会運・目下運すべてが成敗的に凶であり、幸禍面でも、不幸をもたらすという結果になります。

15

## 大運の喜ぶ神と忌む神

外格の場合		喜神(木水)	忌神(火土金)	
	29才~ 38才	39才~ 48才	49才~58才	59才~ 68才
天	<del>己</del> 土	<del>戊</del> 土	丁 火	<del>丙</del> 火
地	<del>亥</del> 水	<del>戌</del> 土	<del>酉</del> 金	<del>申</del> 金

年支の寅と亥は支合して、喜神の木行の根を取る  
ので×とする

年干の壬と丁は干合して、木化となる  
ので、○とする

■大運の天干は、初めの5年、地支は残りの5年をみます

### ■十二支の五行

寅卯…木 巳午…火 申酉…金 子亥…水 丑辰未戌…土

16

新四柱推命プロ版で診断すると大運は、下図のように表示されます。

大運	28	38	48	58	68	78	88
	己:劫財	戊:比肩	丁:印綬	丙:偏印	乙:正官	甲:偏官	癸:正財
	亥	戌	酉	申	未	午	巳
	絶	墓	死	病	衰	帝旺	建祿
	×	×	○	×	○	○	○
	×	×	×	×	×	×	×

28歳から48歳までは、すべて、凶運ですから、実力はありながらも、実力以上には、成功を勝ち取ることができないと鑑定します。

17

内格の場合の大運吉凶		喜神(金土)	忌神(木火水)	
	29才~ 38才	39才~ 48才	49才~ 58才	59才~ 68才
天	己 土	戊 土	<del>丁</del> 火	<del>丙</del> 火
地	亥 水	戌 土	酉 金	申 金

年支の寅と亥は支合して、忌む神の木行の根を取るのので○とする

■大運の天干は、初めの5年、地支は残りの5年をみます

十二支の五行

寅卯…木 巳午…火 申酉…金 子亥…水 丑辰未戌…土

18

新四柱推命プロ版で、喜ぶ神と忌む神を変更して内格にした場合は、下図のように表示されます。

外格	大運	28	38	48	58	68	78	88
		己:劫財	戊:比肩	丁:印綬	丙:偏印	乙:正官	甲:偏官	癸:正財
		亥	戌	酉	申	未	午	巳
		絶	墓	死	病	衰	帝旺	建祿
		×	×	○	×	○	○	○
		×	×	×	×	×	×	×
内格	大運	28	38	48	58	68	78	88
		己:劫財	戊:比肩	丁:印綬	丙:偏印	乙:正官	甲:偏官	癸:正財
		亥	戌	酉	申	未	午	巳
		絶	墓	死	病	衰	帝旺	建祿
		○	○	×	×	×	×	×
		○	○	○	○	○	×	×

28歳から48歳までは、すべて、吉運ですから、実力以上の成功を勝ち取ることができると鑑定します。

19

## 年運・月運の喜ぶ神と忌む神

内格 喜神(金土) 忌神(木火水)					外格 喜神(木水) 忌神(火土金)				
年運	2004	2005	2006	2007	2004	2005	2006	2007	
	甲 <del>木</del>	乙 <del>木</del>	丙 <del>火</del>	丁 <del>火</del>	甲 ⊕ 木	乙 ⊕ 木	丙 <del>火</del>	丁 ⊖ 火	
月運	2005年度				2005年度				
	4月	5月	6月	7月	4月	5月	6月	7月	
	庚 ⊕ 金	辛 ⊕ 金	壬 <del>水</del>	癸 <del>水</del>	庚 <del>金</del>	辛 <del>金</del>	壬 ⊕ 水	癸 ⊕ 水	

■年運、月運は天干だけで判断

20

# 外格と判断した場合、新四柱推命プロ版では年運は、下図のように示されます

	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
年運	庚:食神	辛:傷官	壬:偏財	癸:正財	甲:偏官	乙:正官	丙:偏印	丁:印綬	戊:比肩	己:劫財
	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑
	冠帯	建祿	帝旺	衰	病	死	墓	絶	胎	養
	△	×	○	○	×	○	×	○	×	×
	空亡 捨己従人	空亡 多聞多事	一本万本	悠々天子	不平不満	古捨一新	極樂生悲	対応上手	我意孤行	我意孤行

2000年は、庚の年で忌む神なので×となるはずですが、空亡となっているので、その忌む作用が空しくなるので、△と表示しています。

## 五行の強弱計算法

## 例題2(M男さん)

天	丙	壬	甲	癸
地	午	寅	寅	卯
五行	火	木火	木火	木

- 月令を得ていればx3
- 支があればx2
- 0支の場合は1とする
- 天に無ければx0

五行	天干	地支	計算	点数
木	1	3	$1 \times (3 \times 3 \times 3) = 27$	27点
火	1	3	$1 \times (2 \times 2 \times 2) = 8$	8点
土	0	1	$0 \times 0 = 0$	0点
金	0	1	$0 \times 0 = 0$	0点
水	2	1	$2 \times 1 = 2$	2点 <sup>22</sup>

# 内格・外格の手法

# 例題2 (M 男さん)

例題	木	火	土	金	水
→	27点	8点	0点	0点	2点

1案(外格)		2案(内格)	
木が強いので片寄りを吉として徹底的に強める手法		木が強く、我が身の水が弱い。バランスが良いのを吉として判断	
我(水)を弱める(従児格)		我(水)を助ける	
吉	木・火	吉	金・水
凶	土・金・水	凶	木・火・土
■ 才能発揮して吉の人生		■ わが身を強くして吉	

新四柱推命プロ版の画面では下図のように従児格の外格となります。



# 新四柱推命プロ版で、喜ぶ神と忌む神を変更し、内格とすると下図のようになります



ここは、変更が可能



## 年・月・時・柱の喜ぶ神と忌む神

外格	吉(火木)	凶(土金水)	内格	吉(金水)	凶(木火土)
○		○	×		×
丙	壬	甲	丙	壬	甲
午	寅	寅	午	寅	寅
火	木・火	木・火	火	木・火	木・火
○	○	○	×	×	×

天と地で○×の解釈が異なる

- 天は「成敗面」をみます 仕事で成功したか、失敗したか？
- 地は「幸禍面」をみます その成功が幸せをもたらしたか？

外格: 従児格 内格: 食神格 と言います。

# 大運の喜ぶ神と忌む神

# 例題2 (M男さん)

外格: 従児格 喜神(木火) 忌神(土金水)				
	28才~ 37才	38才~ 47才	48才~ 57才	58才~ 67才
天	<del>辛</del> 金	<del>庚</del> 金	<del>己</del> 土	⓪ 土
地	<del>亥</del> 水	<del>戌</del> 土	<del>酉</del> 金	<del>申</del> 金

年干の癸と戌は、干合します。癸は、忌む神だから、忌む神を合去する戌は、土行でありながら、喜ぶ神に転じます。

大運は凶ばかりです。こういう場合は、素質はあるが、なんかうまくいかないと診断します。 27

新四柱推命プロ版で診断すると下図のようになります。

大運	27	37	47	57	67	77	87
	辛:印緩	庚:偏印	己:正官	戊:偏官	丁:正財	丙:偏財	乙:傷官
	亥	戌	酉	申	未	午	巳
	建祿	冠帯	沐浴	長生	養	胎	絶
	×	×	×	○	○	○	○
	×	×	×	×	×	○	○

# 大運の喜ぶ神と忌む神

# 例題2 (M男さん)

内格: 食神格 喜神(金水) 忌神(木火土)

	28才~ 37才	38才~ 47才	48才~57才	58才~ 67才
天	辛 金	庚 金	己 土	戊 土
地	亥 水	戌 土	酉 金	申 金

年支の卯と戌は、干合します。卯は、忌む神の根となっているので、戌は、土行でありながら、喜ぶ神に転じます。

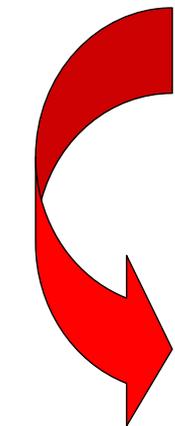
月干の甲と己は、干合します。甲は、忌む神だから、忌む神を合去する己は、土行でありながら、喜ぶ神に転じます。  
 年干の癸と戌も干合しますが、癸は喜ぶ神なので、戌は、忌む神となります。

大運は吉ばかりです。こういう場合は、素質はないが、なんかうまく行くと診断します。<sup>29</sup>

## 新四柱推命プロ版で、喜ぶ神と忌む神を変更した場合、大運の吉凶も変化します

外格

大運	27	37	47	57	67	77	87
辛:印綬	庚:偏印	己:正官	戊:偏官	丁:正財	丙:偏財	乙:傷官	
亥	戌	酉	申	未	午	巳	
建祿	冠帶	沐浴	長生	養	胎	絶	
	×	×	×	○	○	○	○
	×	×	×	×	×	○	○



内格

大運	27	37	47	57	67	77	87
辛:印綬	庚:偏印	己:正官	戊:偏官	丁:正財	丙:偏財	乙:傷官	
亥	戌	酉	申	未	午	巳	
建祿	冠帶	沐浴	長生	養	胎	絶	
	○	○	○	×	×	×	×
	○	○	○	○	×	×	×

# 年運・月運の喜ぶ神と忌む神 (M男さん)

外格 喜神(木火) 忌神(土金水)					内格 喜神(金水) 忌神(木火土)				
年運	2004	2005	2006	2007	年運	2004	2005	2006	2007
	甲 木	乙 木	丙 火	丁 火		甲 木	乙 木	丙 火	丁 火
月運	2005年				月運	2005年			
	4月	5月	6月	7月		4月	5月	6月	7月
	庚 金	辛 金	壬 水	癸 水		庚 金	辛 金	壬 水	癸 水

31

# 新四柱推命プロ版を使った場合の年運診断

○ 時柱	× 日柱	○ 月柱	× 年柱
丙:偏財	壬	甲:食神	癸:劫財
午	寅	寅	卯
丙 己 丁	戊 丙 甲	戊 丙 甲	甲 乙
偏財 正官 正財	偏官 偏財 食神	偏官 偏財 食神	食神 傷官

	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
年運	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46
	庚:偏印	辛:印綏	壬:比肩	癸:劫財	甲:食神	乙:傷官	丙:偏財	丁:正財	戊:偏官	己:正官
	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑
	墓	絶	胎	養	長生	沐浴	冠帶	建祿	帝旺	衰
	△	×	×	×	×	×	×	×	○	×
	空亡 無風波高	空亡 多感多情	日昇日落	災害過多	落葉秋深	鏡花水月	見通不可	強風強雨	樂生悠々	欲望過多

32

# 格局用神法の長所

- 吉か凶かを診断したい場合は、結果が明確に出る。
- 明確にでると、開き直って人生を歩むことができる。命以上のことを望まなくなる。
- 外格でも内格も、それを活かす思想がある。
- 四柱推命の喜ぶ神を使って、家相をつくったり(家相学)、方位を使ったり(奇門遁甲学)、色を使ったりという、展開をしていくことができる。

33

## 外格の種類

■ 従格 = 片寄りを利用して強い五行に従う

従旺格	比劫	吉) 自主・独立・自尊・勝気・実行力 凶) 独断・固執・強引・暴走
従兇格	食傷	吉) 温和・鋭敏な才能・弁が立つ・細かい才能 凶) 弛んでる・油断・おせっかい・不平不満
従財格	財	吉) 処理能力・活用能力・現実的・商売上手 凶) 利用度に傾きすぎ・効率的すぎる・ケチ
従殺格	官	吉) 権力を上手に使う・統率力・率直・自制心・品位 凶) 権威ぶる・暴力的・融通が利かない・目上の奴隷・形式だけ
従強格	印	吉) 知恵・学問・創造性・アイデア・慈悲深い 凶) 迷い・甘え・依頼心・妄想・我がまま

34

# 内格

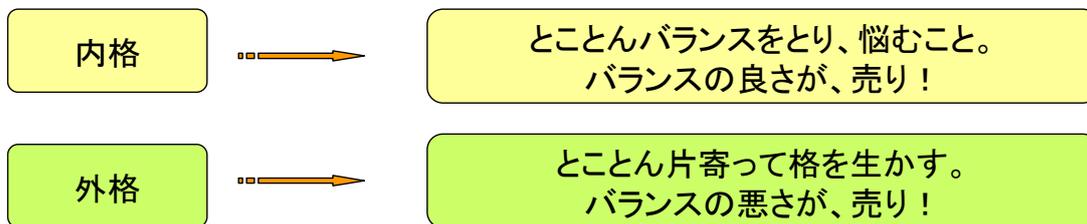
月支蔵干の通変星	格
比肩	建録格
劫財	月刃格
食神	食神格
傷官	傷官格
偏財	偏財格
正財	正財格
偏官	七殺格
正官	正官格
偏印・印綬	印綬格

- 内格は外格にならない命式で、比較的五行が平均しています。
- 天干に3行以上あればほとんど内格です。
- 内格の格は、月支蔵干の通変星がそのまま格になります。

35

## 格局はネームプレート、 喜ぶ神、忌む神はその処方。

### ● 内格も外格も全てを良しとする思想



- 内格なのに、バランスをとることをせず外格的に生きようとするのは、外格くずれ。
- 外格なのに、バランスをとりとうして、人間関係で悩むのは、内格くずれ。
- 外格らしく、内格らしく、…吉
- 外格らしく、内格らしくなりきれない…凶

はっきりしないのがダメ

36

## 格局用神法の欠点

1. 五行の強弱を出すとき、生まれた時刻が不明の場合は、計算できない。
2. 時柱を無視した計算は、**不正確**となる。
3. 吉と凶を決定するという目的で使うのは良いが、格局の判断つまり、内格と外格の判断を間違えると、**結果が180度反対**になってしまう。
4. 吉か凶かという、デジタル式の鑑定に陥りやすい。
5. 命式が悪いから、うまくいかないというふうに、責任転嫁の人生を送りやすくなる。

37

## 格局用神法の欠点

- 命式がよければ、大運は、悪くなる。
- 大運がよければ、命式は、悪くなる。
- 命式と大運は、車の両輪ということになっているので、こじつけの鑑定となりやすい。
  - ・ 命式が悪くて成功した人は、大運が良いから成功したと言い訳ができる。
  - ・ 命式が良くて自己破産した人には、大運が悪いから失敗したと言い訳ができる。

38

# 最後に

天	乙	戊	壬	壬
地	卯	戌	寅	寅
五行	木	金火 土	木 火	木 火

この女性の事例ですが、天と地をわけて、鑑定すればどうなるでしょうか？

天は、財星が多く並び、地は、官星が多くなります。心は、人を支配することを望み、体は、人から支配されることを望むということです。この心と体の矛盾こそが、彼女の人生の悩みの根本です。さて、どうすれば、開運できるでしょうか？会社は4～5回転職していますが、3年もすると、目上とケンカして退職に追い込まれるのが30代でした。それで、独立したわけですが、独立する方法は、どういう独立の仕方がベストなのでしょうか？どういう、事業が適性なのでしょうか？